

このチラシは、伊丹市議会議員「相崎佐和子」が、市政情報などをお届けしているニュース紙です。

毎月発行（年4回はA3・その他はA4）しており、ポスティング・駅やスーパーマーケット前での配布・郵送などでお届けしています。

現在、伊丹市議会の議長をしています。「議長って何をしているのかわからない」とのお声を頂戴することを踏まえ、この活動ニュースでは、議長公務の様子などを議員活動と同時にご報告しています。



相崎佐和子

伊丹で“こども食堂”がオープン！～さくらっこ食堂～

■「さくらっこ食堂」オープン！

伊丹市初の“こども食堂”である「さくらっこ食堂」が、サンシティホールで始まりました！

“こども食堂”とは、十分な食事を取れなかったり一人で食事をしていたりする子どもを支援するために、栄養バランスの取れた食事や地域の人々とのふれあいの時間を、無料または安価で提供する取り組み。（知恵蔵miniより抜粋）。全国各地で広がっており、伊丹市でもこの5月に「さくらっこ食堂」が桜台小地区で事業を開始しました。

■実際の様子は？

そこでさっそく、第2回である6月13日（月）の様子を見にいってきました。

会場であるサンシティホール食堂では、子ども・親子連れ・高齢者などが続々と訪れ、この日のメニューである豚丼とお味噌汁に舌鼓を打っていました。（18歳以下100円 18歳以上300円）行ったのは19時頃でピークは過ぎていましたが、オープンの18時ごろは長蛇の列ができ、大勢の子ども達で賑わっていたそうです。また、会場に隣接する天神川団地などから、高齢者の方も大勢食べに来られたとのこと。子どもはもちろん、幅広い世代にとって身も心も満たされる場になっているようです。

またサンシティホール内では、**こどもの勉強スペースも設けられており**、登録した学生ボランティアなどが勉強をサポートしています。部屋をのぞくと、子ども達はすっかり学生さんに懐いており、学校や家庭とまた違った貴重な学びの場となっていました。

■“こども食堂”を実施するには？

“こども食堂”を実施するには、人材・場所・お金が必要です。「さくらっこ食堂」に聞いてみると・・・。

- ◎**人材**：基本的に地域の方々や教育福祉等の各団体によるボランティア。
- ◎**経費**：「赤い羽根共同募金の助成金」を活用。食材は桜台小学校の学校菜園で収穫したものも活用。
- ◎**場所**：高齢者施設のサンシティホール。一定の広さがあることを活かし、こども食堂と同時に子どもの居場所スペースや勉強スペースも設置。

関わっている方いわく「まだ2回目で試行錯誤だが、まずは継続していきたい。ゆくゆくは晩御飯を食べにくるのはもちろん、皆がホッとできる居心地のよい場所になれば」とのこと。

さくらっこ食堂を立ち上げられたことに、まずは深く敬意を表します。携わっておられる皆様には頭が下がるばかりです。これから「さくらっこ食堂」が充実発展し、みなさんの心より所になるよう支援応援をさせていただくと同時に、このような取り組みを伊丹市で広めていけるよう、検討を進めてまいります。

